

◇私立小学校訪問記/雲雀丘学園小学校（2022年3月）

校舎に入ると、サントリーの創業者であり、本校の初代理事長である鳥井信治郎理事長の銅像があり、「親孝行な人はどんなことでもりっぱにできます」というお言葉が添えられていました。

本日は「高く、豊かに、たくましく」を教育の目標に掲げ、「感謝する心」を育てることを大切にしている雲雀丘学園小学校の校長先生と入試対策部長の先生と面談をしました。

下記に校長先生と入試対策部長の先生とお話しさせていただいたことを列記します。

【学校では、教育の目的をどのように考えていますか】

本校は、「高く、豊かに、たくましく」を教育の目標に掲げています。

「高く」とは、個性を認め、活かし、正しい判断力と高い学力を身につけた子どもを育てることです。

高い学力を育てるには、教え込む教育ではなく、児童が自発的に学びに取り組む姿勢を育て、思考しながら学び続けられる環境づくりが大切であると考えています。

「豊かに」とは、人としての品格と、温かい心を持った人間性豊かな子どもを育てることです。

創立記念日である10月1日を「親孝行の日」と定め、日ごろはなかなか伝えられない家族への感謝の気持ちを、児童一人ひとりが考えて表現し、家族の深い愛情について改めて考える機会をつくっています。

「たくましく」とは、何事も簡単に諦めない、たくましい心と身体を持った子どもを育てることです。

5年生の宿泊学習では、1kmの遠泳に挑戦し、チャレンジする心を育てます。

【受験対策はどのようにすればよいのでしょうか】

試験内容は親子面接と適性検査になります。令和5年度の入試からペーパーテストは廃止になります。

1. 親子面接

保護者の方にはご家庭の教育方針、お子さまの長所・短所などをお聞きします。ご両親それぞれの教育方針を聞きたいと考えていますので、両親ともに参加してほしいと思っています。

お子さまにはお名前、ご家庭、幼稚園・保育園での活動を聞きます。しっかりと受け答えができるか、礼儀が身につけているかなど、お人柄を見ます。

2. 適性検査

ことば、人間関係、数量・図形、環境・自然、絵画、健康の 6 分野から出題致します。瞑想、なわとび、箸使いは必ず出題し、落ち着き、巧緻性、基礎的な運動能力を見ます。適性検査では、口頭や具体物を操作して答えて頂きますが、指示されたことを理解できているか、指示通りに行動できるか、どのように考えて行動するか等を見ます。

【雲雀丘学園小学校の教育の内容】

本校が力を入れている学力の育成、体験型教育、英語教育についてお話しさせていただきます。

1. 学力の育成

本校では、好奇心と達成感を通じて、学習意欲を高めることを大切にしています。

初めは正しい言葉遣いをすることや文字の形に気を配り、美しく書けるようにすることなど、物事を丁寧に理解するという基礎的なことから教えます。学年が上がるにつれて、論理的な思考を持ち、自身の力で考え、問題を解いていけるよう導きます。教科書で教え込むのではなく、児童が物事に興味を持ち、主体的に取り組む姿勢を大切にしています。

本校ではそのために「ひばりタイム」「学力を具体的に分析する」ことを行っています。

・ひばりタイム

毎日朝と昼の時間にそれぞれ 20 分ずつ、計算・漢字・英語のモジュール学習を実施しています。短時間で覚える訓練を繰り返すことで、楽しみながら効率的に知識を定着させることが出来ます。

・学力を具体的に分析する

懇談の際、どの分野が良く出来ていて、どんなところでつまづいているのかを、次の対策が打てるよう細かく、具体的にお伝えしています。その際、学習習慣についてのアドバイスも行っています。

5.6 年生では分布表作成し、お子さまの学力が見える化して説明させていただいています。

2. 体験型教育

本校では、フィールドワークを通して、豊かな人間性を育てることを大切にしています。みんなで協力して、何かを成し遂げるという経験は、人間力を育むことに繋がります。お互いに助け合ったり、時にはリーダーシップを発揮したり、集団の中での立ち回りやコミュニケーション力を学べる機会になります。

「生きた学び」を実践するために 2 年生から毎年宿泊学習を実施しています。自然と文化に触れながら友だちとの共同生活を体験します。

また「ひばりの里」では、自然を子どもたちが疑似体験できる環境を作り、自然と触れ合う機会を増やしています。

珍しい種類のカエルや昆虫が見つかるなど、観察するたびにどんどんと新しい発見が生ま

れます。

児童たちの好奇心と探究心を育む良い機会となっています。

3. 英語教育

日常的に英語が入ってくる環境を作ることで、抵抗なく親しみを持って学ぶことが出来ます。まずは楽しみながら英語に触れ、徐々に「聴く」「話す」「読む」「書く」を段階的に強化していきます。

低学年では、英語の歌を歌いながら、楽しんで英語に参加します。歌う曲は授業ごとに違い、児童たちも楽しそうに学んでいます。1年生でも簡単な単語が読めるようになります。

中学年では、タブレットを使って、発音の確認をしながら、1人で学習できるようになります。またスピーチのための原稿を自分で書き、みんなの前で写真や絵を使いながら話します。高学年では、タブレットを使って、プレゼンテーションファイルをつくり、それに合わせてみんなの前で発表できるようになります。中学校レベルの英文が読めるようになります。

また英語教育の一環として、希望者の方には、ニュージーランド研修の制度も用意しています。1家庭に1人ずつ10日間のホームステイをします。

ホストファミリーの子どもと一緒に現地の学校に通い、授業を受けたり、現地のさまざまな場所を訪れてニュージーランドの文化を体験したりします。

海外で過ごす日々は、新鮮で忘れられない思い出になります。

【訪問を終えて】

「親孝行」を大切にされ、「一番近くで支えてくれる親を大切にできない人は、何も大切にできない」との思いから、本校では創立記念日を「親孝行の日」としています。

家族への感謝の気持ちを児童一人ひとりが考えて表現するそうですが、感謝の気持ちをしっかりと形あるものとして伝える良い取り組みではないでしょうか。

【ピグマリオンとの関連性】

雲雀丘学園小学校の「高く、豊かに、たくましく」の教育は、ピグマリオン教育に通じます。

ピグマリオンで身につけた「思考力」「思いやりの心」「諦めず、たちむかう心」を入学後も安心して、雲雀丘学園小学校でも伸ばすことが出来るでしょう。